

2階 ギャラリー

土壁に梁。床の間がある畳敷きの部屋も。座ってゆっくり鑑賞できます。

●楽風企画

青柳健二 写真展 犬像をたずね歩く

8/30(木)~9/30(日) 5(水)、12(水)、19(水)、26(水)休

10時~7時 ※最終日5時まで

今年1月、『全国の犬像をめぐる』と題した同名著作(2017年 青弓社)の写真展を開いてくださった青柳さん。忠犬、名犬は今でもたくさんいるなかで、像になる、像にするというのは、一歩飛び越えた何かがあると感じ、その後も取材は続けたそうです。

そして8月に新刊『犬像をたずね歩く あんな犬、こんな犬32話』(2018年 青弓社)を出版。これを記念し、今年2度目の写真展開催となりました。今回は「縄文時代から平成時代の犬像を通して、日本人が犬や自然とどのように関わってきたのか、お伝えできたら嬉しい」と青柳さんから皆さんへのメッセージ。是非お出掛けください。犬像に会いに。

あおやぎ けんじ 1958年、山形に生まれる。旅しながら撮影したアジアの他、棚田の取材も評価が高い。



●楽風企画

西ノ宮翼 個展 【ペンによる線描画】

10/4(木)~9(火) 10時~7時 ※最終日5時まで

当ギャラリーの公募展「若手作家応援企画」が始まって5年。応募当時、大学生だった西ノ宮さんは卒業し、翌2013年に初個展を開催しました。油彩、インスタレーション、ペン画と異なる手法で作品を展開してから5年が経った現在、表現の中心となったのは線描画。視点は深まり、その緻密さも増しました。葉書寸にびっしりと描き込まれた人、もの、模様、影。思い起こされる幼い頃の気持ちや、夢でみた光景。絵から漂う独特な空気を感じるうちに、いつしか作品へ入り込んでいくような錯覚を覚えます。新作を軸に、過去の作品も展示。この5年間の歩みをご覧ください。また自宅で栽培した植物のドライフラワーを取り入れたリースなど、雑貨も販売。会期中は西ノ宮さんが、皆さんの前で線描画制作を行う予定です。

にしのみや つばさ 1990年、東京に生まれる。2013年、日本大学芸術学部美術学科絵画コースを卒業。



てのひら

掌の木版画展 照井順一作品展 10/11(木)~16(火) 10時~7時 ※最終日5時

木版画歴50年の照井順一さん。旅先で描いたスケッチを元に、彫り、摺った木版画はどれも素朴で温かな味わいです。小品約40点の展示販売と共に、照井さんのこけしコレクションも合わせてお楽しみください。

川岸富士男 翠花庵の草花あそび展 【水彩】 10/18(木)~23(火) 10時~7時 最終日4時まで

和紙の美しさを引き立たせたくて描く、という川岸さんの植物画。繊細に、時に大らかに、過不足なく描かれるのは、あるがままに咲く草花。そこに現れた自然で気品ある美しさに息を呑みます。初の作品集『翠花庵の草花あそび』に収録された作品も展示。秋を感じられる個展です。

楽宇生 浅香和子 革、木と遊ぶ 【レザーカービング】 10/25(木)~30(火) 11時~6時 最終日5時まで

革の彫刻とも言える“レザーカービング”。犬、猫、馬などの動物を写実的に表現した浅香さんの作品は、いつも観る者を優しい気持ちにさせてくれます。浅香さんが講師を務める教室の生徒さんたちの作品も展示。力作の数々が並びます。

銀・彩彩(グループ展) [銀粘土アクセサリー] 11/1(木)~6(火)

田村道子[染織] 11/15(木)~20(火)

楽風企画：相馬大吾[油彩] 11/22(木)~27(火)

たかのしず絵[陶器] 11/29(木)~12/4(火)

入野久美恵、木下 惟[平面、イラスト] 12/6(木)~12/11(火)

水野陽子[絵画] 12/20(木)~12/25(火)



相馬大吾

貸ギャラリー

2019年：ご予約を受け付けております。

rafu-urawa.comにて
空間、利用規約等ご覧いただけます。